

JP05119937 A
FORMAT OVERLAY DEVICE
CHUGOKU NIPPON DENKI SOFTWARE KK

Abstract:

PURPOSE: To easily perform the addition and change of the image of a rule mark and screen, etc., in a format. **CONSTITUTION:** A print data input part 1 outputs format information out of print control information inputted from an information processor (a) with print data to a format input part 3. The format input part 3 reads out the format stored in a format storage part 2 in advance according to the format information, and transmits the code of format data used in the format to a format data input part 5. The format data input part 5 reads out the format data stored in a format data storage part 4 in advance according to a designated code. A format developing part 6 generates a format image from the format and the format data. An overlay part 7 prepares a print image from the print data and the format image, and outputs it to an output part 8.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

Inventor(s):

YAMAGUCHI TAKAHIRO

Application No. 03284302 JP03284302 JP, **Filed** 19911030, **A1 Published** 19930518

Original IPC(1-7): G06F00312

Patents Citing This One (3):

- EP0659570 A2 19950628 CANON KABUSHIKI KAISHA
Pattern output apparatus and pattern output method
- EP0659570 B1 19990526 CANON KABUSHIKI KAISHA
Pattern output apparatus and pattern output method
- US6331894 B1 20011218 Canon Kabushiki Kaisha
Pattern output apparatus and method for converting form data and input data to intermediate data to form an overlay pattern

(11)特許出願公開番号

特開平5-119937

(43)公開日 平成5年(1993)5月18日

(51) Int. Cl.⁵

G O 6 F 3/12

識別記号

室内整理番号

F 8323-5B

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平3-284302

(22)出願日

平成3年(1991)10月30日

(71)出願人 000211329

中国日本電気ソフトウェア株式会社

広島県広島市南区稻荷町 4 番 1 号

(72)発明者 山口 孝浩

広島県広島市南区稻荷町 4 番 1 号中国日本

電気ソフトウェア株式会社内

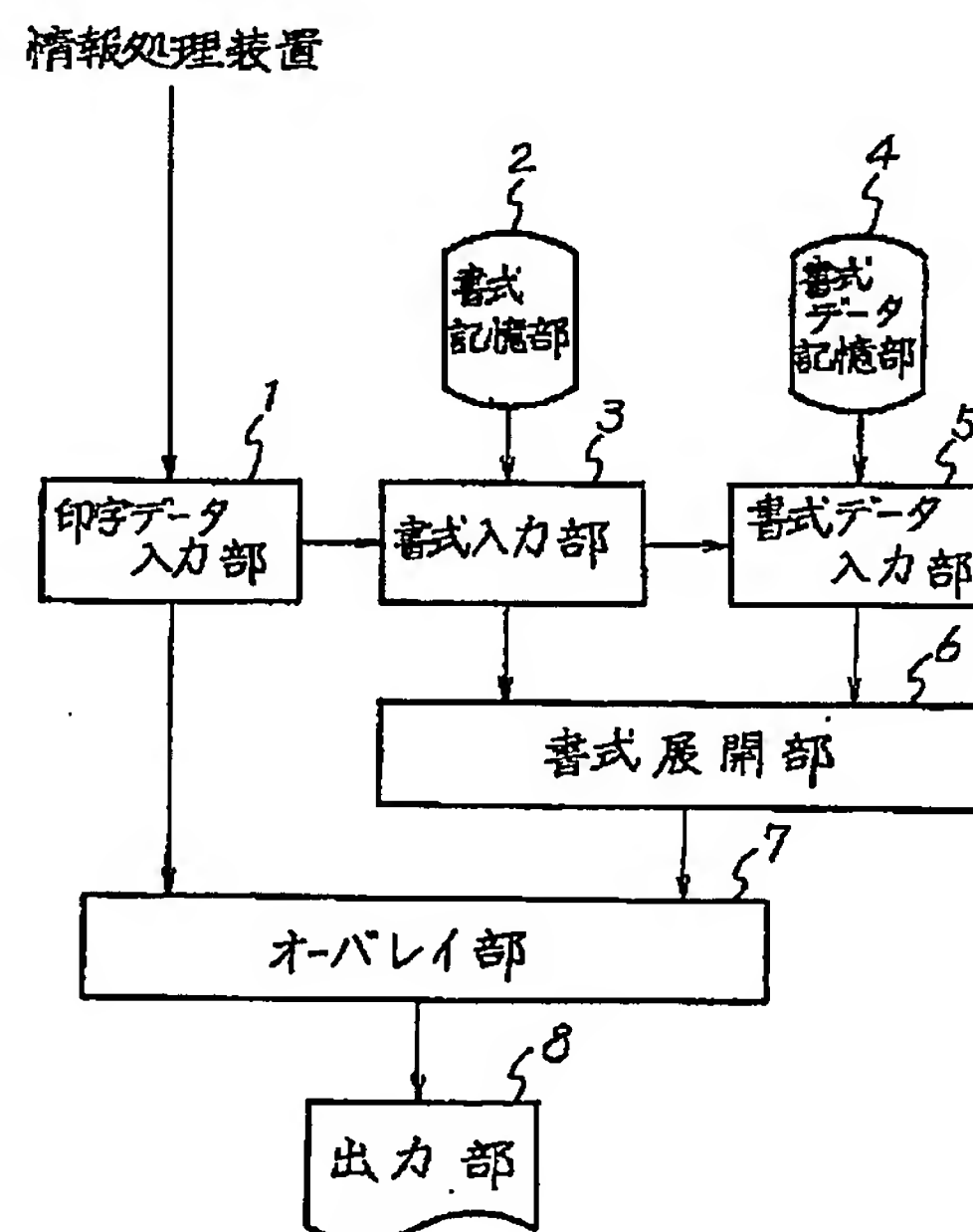
(74)代理人 弁理士 内原 晋

(54)【発明の名称】 書式オーバレイ装置

(57) 【要約】

【目的】書式中の野線，網掛けなどのイメージの追加および変更を容易にできるようにする。

【構成】印字データ入力部 1 は情報処理装置から印字データと共に入力された印字制御情報のうちの書式情報を書式入力部 3 へ出力する。書式入力部 3 は書式記憶部 2 に予め格納してある書式を書式情報に従って読出し、書式に使用してある書式データのコードを書式データ入力部 5 に伝える。書式データ入力部 5 は、予め書式データ記憶部 7 に格納した書式データを指定されたコードに従って読出す。書式展開部 6 は書式と書式データとから書式イメージを生成する。オーバーレイ部 7 は、印字データと書式イメージとから印字イメージを作成して出力部 8 へ出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報処理装置から出力された印字データと書式情報とから文字と書式とを重畳して印字する書式オーバーレイ装置において、複数の書式を予め格納した書式記憶部から書式情報に従って書式を読み出し、書式に使用されている書式データのコードを抽出する書式入力部と、この書式入力部が抽出したコードの書式データを予め格納してある書式データ記憶部から読み出す書式データ入力部と、前記書式入力部が読み出した書式を前記書式データ入力部が読み出した書式データに従って書式のイメージに作成する書式展開部と、この書式展開部で作成した書式のイメージと情報処理部から出力された印字データのイメージとを重畳して印字イメージを作成するオーバーレイ部と、このオーバーレイ部で作成した印字イメージを表示出力する出力部とを有することを特徴とする書式オーバーレイ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は書式オーバーレイ装置、特に情報処理装置から出力された印字データと見出し文字および罫線などを含む書式とを重畳して印字するための書式オーバーレイ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種の書式オーバーレイ装置は、情報処理装置から出力される書式の指定に従って書式のイメージを生成している。一般に書式は文字単位エリアの罫線、網掛けなどから構成されるが、罫線、網掛けなどは書式を記憶する容量の効率化などからコード化されていて、さらにそれらのコードに対応したパターンイメージは書式データとして記憶している。なお書式は情報処理装置からの印字データを種類に対応できるように、複数種を記憶するか記憶内容を入れ替えられるようになっているが、書式データはオーバーレイ部にコード対パターンデータの形で固定的に保持するか、オーバーレイ部でコードから一意なパターンデータを生成するようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来の書式オーバーレイ装置は、書式データを固定的に保持しているため、例えば使用できる罫線はオーバーレイ部に予め記憶されているパターンのみであり、それ以外のパターンは使用できないというように、書式のイメージは固定の予め備えられているものしか使用できないという欠点がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の書式オーバーレイ装置は、情報処理装置から出力された印字データと書式情報とから文字と書式とを重畳して印字する書式オーバーレイ装置において、複数の書式を予め格納した書式記憶部から書式情報に従って書式を読み出し、書式に使用され

ている書式データのコードを抽出する書式入力部と、この書式入力部が抽出したコードの書式データを予め格納してある書式データ記憶部から読み出す書式データ入力部と、前記書式入力部が読み出した書式を前記書式データ入力部が読み出した書式データに従って書式のイメージに作成する書式展開部と、この書式展開部で作成した書式のイメージと情報処理部から出力された印字データのイメージとを重畳して印字イメージを作成するオーバーレイ部と、このオーバーレイ部で作成した印字イメージを表示出力する出力部とを有することにより構成される。

【0005】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0006】 図1は本発明の一実施例の構成図である。図1の実施例は印字データ入力部1、書式記憶部2、書式入力部3、書式データ記憶部4、書式データ入力部5、書式展開部6、オーバーレイ部7、および出力部8を含んで構成される。

【0007】 以上の構成において、印字データ入力部1は情報処理装置の処理プログラムにより出力された印字データおよび印字のための書式を含む印字制御情報を入力する。書式記憶部2は処理プログラムから出力される複数の書式を予め格納している。この書式記憶部2は、例えば磁気ディスク装置またはフロッピーディスク装置などで構成される。書式入力部3は印字データ入力部1が入力した印字制御情報のうちの書式情報を受取って、対応する書式を書式記憶部2から読み出す。書式データ記憶部4は書式記憶部2に格納している書式の各要素のパターンイメージである書式データを記憶している。書式の各要素とは罫線および網掛け等の文字単位エリアのパターンである。この書式データ記憶部4は、例えば磁気ディスク装置またはフロッピーディスク装置などで構成されていて、書式データは内容を容易に変更できる。書式データ入力部5は書式入力部3が入力した書式に使用されている書式データの情報を受けて、書式データを書式データ記憶部4から読み出す。書式展開部6は書式入力部3が読み出した書式を、書式データ入力部5が読み出した書式データを元にして、実際に印字できる形式である書式イメージに変換する。オーバーレイ部7は印字データ入力部1が入力した印字データと書式展開部6が作成した書式イメージとを重畳した印字イメージを作成する。出力部8はオーバーレイ部7が作成した印字イメージを出力するプリンタ装置またはディスプレイ装置である。

【0008】 図2は図1の実施例の動作を説明するための図で、印字データおよび書式などを単純にした例について示している。以下図2を参照して図1の動作について説明を進める。まず予め書式記憶部2に使用が予定されている書式を格納し、書式データ記憶部4には書式データを格納する。次いで情報処理装置から印字データおよび印字制御情報を入力する。印字データのイメージ1

1は印字データ入力部1に入力された印字データのイメージを示している。次に、書式入力部3は、印字データ入力部1から印字制御情報中の書式情報を受とって、書式記憶部2から書式情報で指定された書式を読み取り、書式に使用している書式データのコードを書式データ入力部5に出力する。書式データ入力部5は、書式データ記憶部4から書式データのコードに従って書式データを読み取る。書式のイメージ31は書式入力部3が読取った書式のコードイメージを示している。また書式データのイメージ51は書式データ入力部5が読取った書式データのイメージを示している。書式展開部6は書式入力部3および書式データ入力部5が読取った書式および書式データに従って書式のイメージを作成する。書式イメージのイメージ61は書式のイメージ31を書式データのイメージ51に従って作成したものである。書式のイメージ31は説明を簡単にするために罫線については太さのみがコード化されている。書式展開部6は書式のイメージ31のA、BおよびMMMは項目文字なので変換処理はせず、K1は罫線パターン1を、K2は罫線パターン2をコード化したものなので罫線のパターンイメージに変換する。次に、オーバーレイ部7は印字データ入力部1から入力された印字データを書式展開部6から入力された書式イメージに重ね合わせて印字イメージを作成して出力部8に渡す。印字イメージのイメージ81は、オーバ

レイ部7により印字データのイメージ11を書式イメージのイメージ61に重ね合わせたイメージである。出力部8はオーバーレイ部7から出力された印字イメージを表示出力する。

【0009】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、書式が使用する書式データを書式データ記憶部に格納し、書式データの変換を容易にしたことにより、予め設定された固定的な罫線や網掛けパターン以外のパターンを使用して、簡易に書式のイメージを変えることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

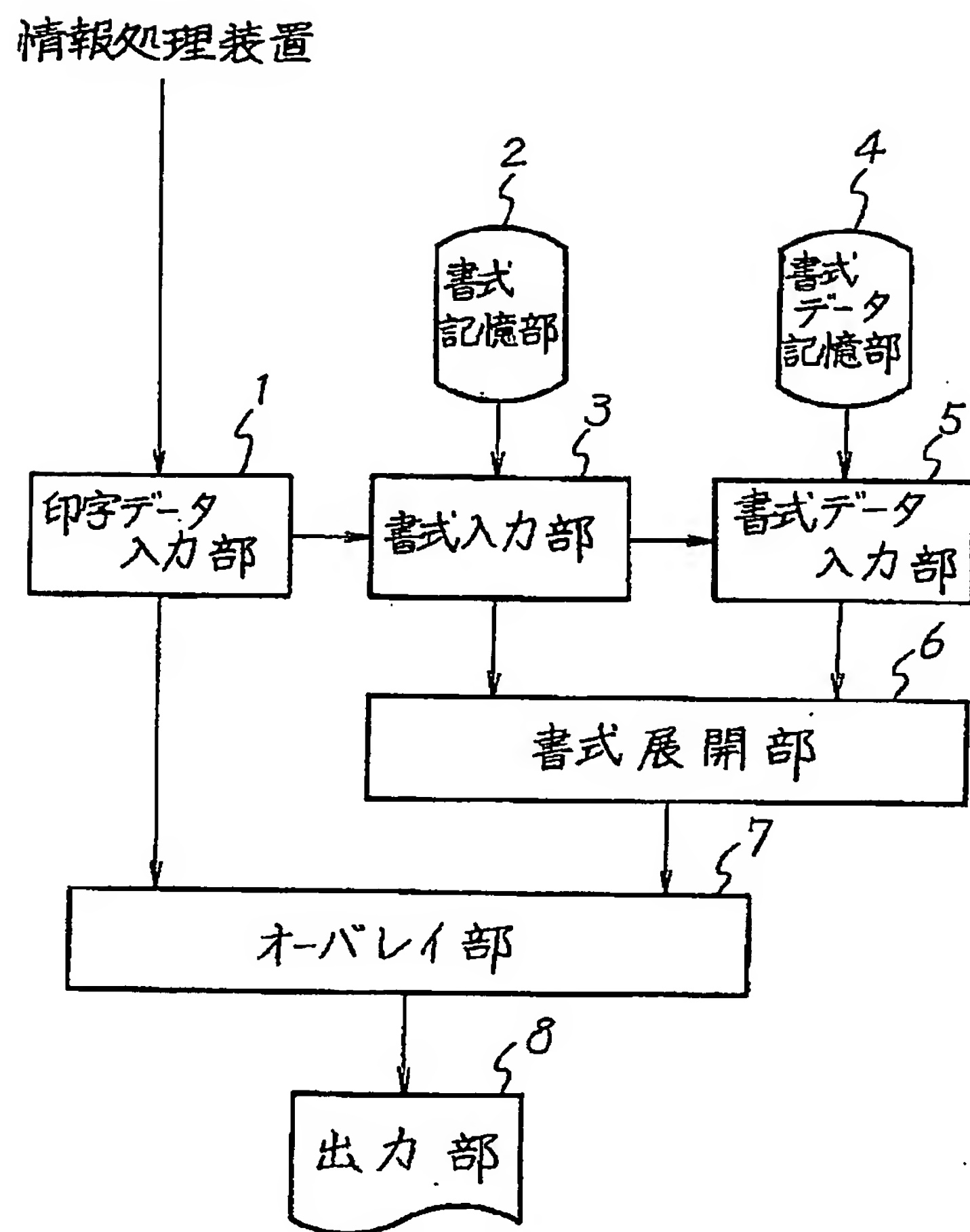
【図1】本発明の一実施例の構成図である。

【図2】図1の実施例の動作を説明するための図である。

【符号の説明】

- 1 印字データ入力部
- 2 書式記憶部
- 3 書式入力部
- 4 書式データ記憶部
- 5 書式データ入力部
- 6 書式展開部
- 7 オーバーレイ部
- 8 出力部

【図1】



【図2】

